

# 年度内完成へ

馬立団地 H31年3月完成予定

## H30年 第2回 定例会

30年度一般会計補正予算は、1億1079万円を追加し総額145億1354万円となった。今回の補正予算に伴う歳出では、新規事業の取組みがあり、移住定住促進事業（集落再生）に516万円、地域伝統次世代継承に185万円、木質バイオマス再生可能エネルギー導入計画策定業務に570万円、南阿蘇鉄道費用対効果調査業務負担金500万円、白水運動公園照明ポール改修工事3150万円等が主な事業である。

特別会計は、水道関連に3000万円、農業集落排水関連に600万円等追加。

平成30年第2回定例会が6月11日～15日の日程で開催された。1億1079万円を追加し、総額145億1354万円とする30年度一般会計補正予算など合計25議案（予算17、条例5、その他1）と議員発議2件を審議し、原案通り可決した。

主な補正は、地域の伝統行事を次世代に継承するための補助金185万円などが新たな取り組み。一般質問には、6名の議員が登壇し、災害公営住宅関連及び白水地区3小学校統合などの質問があった。

### 伝統的な行事を子どもたちへ

南阿蘇村地域伝統次世代継承事業は、地域に代々受け継がれてきた伝統的な行事を次世代に継承する新規事業である。開催する地域に活動補助金を交付（1行政区：5万円）。要件として中学生以下の児童生徒が10名以上参加すること。

地域に残る伝統行事って???

どんどや・ウサギおい・もぐらうち・宮祭り・宮籠りなど

### 南阿蘇鉄道費用対効果調査業務

南阿蘇鉄道の創造的復興を図り、同鉄道を軸とした持続可能な公共交通網の構築を目的として策定した「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画」に基づき、南阿蘇鉄道とJR豊肥本線との接続強化策に係る、調査（効果測定、収支採算性等の精査）を実施します。

事業費	南阿蘇村負担分	高森町負担分
1,000万円	500万円	500万円

### 白水地区3小学校 2022年度までの 統合方針示す

白水地区の中松（71人）、白水（70人）、両併（41人）の3小学校を2022年度までに統合する方針を村長が示した。

村内での小学校統合は、2012年4月に長陽地区の3小学校が統合して以来で旧3村の小学校を各地区ひとつに集約する。

白水地区の3小学校の統合は、村立小・中学校適正規模等審議会が3月に再編を図ることが望ましいという答申を村に提出。

新小学校は答申を踏まえ、既存の校舎を増改築して活用する方針である。スクールバス導入などで遠方からの通学となる児童の負担軽減にも努める。